

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁
メールニュース1月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

2017. 1. 25

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● 年度末のリソースご提供について ●-----

植物培養細胞（継代サイクルがある）の発送について前号にてお知らせしましたが、年が明けて使用される予算の締切りによる発送スケジュールの問合せが増えています。リソースの種類によっては品質管理や安全管理上の作業・手続きに時間がかかる場合がございますので、時間に余裕をもって事前にご相談、ご請求いただければ幸いです。

-----● 学会での事業紹介について ●-----

第 58 回日本植物生理学会年会（3 月 16 日～18 日、鹿児島大学）にて、当室研究員によるポスター発表（PF259、PF260）及び口頭発表（2pC09）が予定されています。発表内容に関わらず、事業へのご質問やご要望のある方もぜひ発表者にお声をかけてください。年会の詳細は以下のとおりです。

<https://jspp.org/annualmeeting/58/index.html>

-----● テクニカルサポート (No. 23) : アザミウマの発生を防ぐための心得 ●-----

寒い日が続いていますが、目を向けると梅の木にもつぼみがつき始め、春がそこまで近づいて来ています。大寒も過ぎ、これから徐々に気温が上がってくると、野外においてはアザミウマなどの昆虫も活動を始めるため、研究室においても注意が必要になります。難防除害虫の代表格であり、農業上、世界的な問題となっているアザミウマは体長およそ 1~2 mm の微小な害虫であるために、体などに付着していたとしても、目視で検出することは不可能です。施設栽培などではアザミウマの侵入を防ぐために防虫ネットなどが使用されていますが、0.4 ミリ目合いのネットであっても完全に侵入を防ぐことは難しく、0.2 ミリ目合いのネットの使用が推奨されています。あまり知られていないことですが、アザミウマは単為生殖を行うことができるために、たった 1 頭のメス成虫が入り込んでしまうと、メスの幼虫が大量に発生し、大問題につながる場合があります（この場合、オスは発生しません）。このような理由から、アザミウマの発生を防ぐには、栽培室に入る際、部屋の前で体を静電気ブラシなどでよく払った後に、専用の白衣を着るなどの細心の工夫が重要です。もちろん、上履きなどを栽培室に入る際には変える必要があります。

しかし、どんなに気をつけていても、アザミウマが発生してしまうことがあります。幾つかのケースがあると思いますが、他研究室より分譲を受けた種子に付着しており、播

種と同時にアザミウマが発生してしまうケースは意外と多いようです。

では、このようなケースを防ぐためにはどうしたらいいのでしょうか？実は種子を-80℃で1週間程度保管することで、付着したアザミウマの卵などを殺虫してしまうことができます。少し時間を要しますが、是非、お試し下さい。

万が一にもアザミウマが発生してしまった場合は、アザミウマの被害が出ている植物体を速やかに破棄した上で、例外なく栽培室内で育成している全ての植物体についてオルトラン粒剤のような殺虫剤を使用すべきです。アザミウマは容易に殺虫剤抵抗性を発達させることができる薬剤抵抗性のエリートとも言われており、中途半端に殺虫剤を使用するとかえって抵抗性個体の発生を促すことにもなるので要注意です。殺虫剤での対処が難しい場合は、一旦、栽培を止め、栽培室の燻蒸などが必要となるため、初期対応が極めて重要となってきます。日頃から注意深く植物の成長に目を向け、食害痕などがなければ観察し、早期にアザミウマの出現を発見できるように心がけて下さい。

当開発室より発送している種子には、減圧ガス滅菌を行っておりますので、すぐに御使用いただくことができます。是非、安心してご活用下さい。ご不明な点やご要望などありましたら、plant@riken.jpまで、お気軽にご問い合わせ下さい。



-----● 利用者の皆様へ ●-----

旧年中はリソース事業へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。



❁*:・'° ❁° '・*:.. ❁.:*:・'° ❁。.:*:。.:*❁

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://epd.brc.riken.jp/>

❁*:・'° ❁° '・*:.. ❁.:*:・'° ❁。.:*:。.:*❁